

- 問1 安土桃山時代の文化について述べた文章として、最も適切なものはどれですか。千利休が作ったとされる茶室「待庵（たいあん）」の構造などの特徴も踏まえて答えなさい。（2020年 岩手県公立入試 類似）
1. 大名や豪商の富を背景に、豪華な城郭が築かれる一方で、質素な「わび茶」の精神を反映した茶室もつくられた。
 2. 鎌倉時代に広まった仏教の影響を受け、素朴で力強い武士の精神を反映した文化が主流となった。
 3. 江戸時代の町人たちの経済力を背景に、浮世絵や人形浄瑠璃などの華やかで親しみやすい文化が発達した。
 4. 貴族の生活が中心となり、遣唐使の廃止に伴って日本独自の好みを反映した繊細な文化が栄えた。
- 問2 豊臣秀吉が行った「太閤検地」の内容とその意義について、最も適切な説明はどれですか。（2016年 佐賀県公立入試 類似）
1. 徳川家康が関ヶ原の戦いで勝利を収めた後、各地の大名に領地の再編を命じ、石高を確定させた。
 2. 足利義満が南北朝の統一を果たした後、有力な守護大名の勢力を抑えるために土地の面積を調査させた。
 3. 織田信長が築いた安土城を拠点として、商工業を活性化させるために市場の税を免除し、自由な商売を認めた。
 4. 全国でバラバラだった升の大きさを統一し、一つの土地につき一人の耕作者を検地帳に登録して、年貢の負担責任を明確にした。
- 問3 16世紀後半、織田信長や豊臣秀吉が天下統一を進めた時期に栄えた文化の特色として、最も適切なものはどれか。（2018年 福岡県公立入試 類似）
1. 公家と武家の文化が混じり合い、禅宗の影響を強く受けた文化
 2. 上方の町人を主な担い手とした、人間味豊かな文化
 3. 戦国大名の威風を反映した、豪華で壮大な文化
 4. 唐の影響を強く受けた、国際色豊かな貴族文化
- 問4 織田信長の行動を年代順に並べたとき、1560年の「桶狭間の戦い」よりも後で、1577年の「安土の城下町での楽市令」よりも前の時期に行われた出来事として、正しいものはどれですか。（2019年 山形県公立入試 類似）
1. 将軍の足利義昭を京都から追放し、室町幕府を滅亡させた。
 2. キリスト教の布教を許可し、南蛮貿易を奨励した。
 3. 明智光秀の謀反により、本能寺で自害した。
 4. 鉄砲を組織的に利用し、長篠の戦いで武田軍を破った。
- 問5 豊臣秀吉が、それまで容認していたキリスト教に対して宣教師の追放を命じるに至った、当時の具体的な理由として当てはまるものはどれですか。（2026年 神奈川県公立入試 類似）
1. 長崎がイエズス会に寄進されるなど、日本の領土の一部が実質的に外国勢力の支配下に入ることにに対して強い危機感を持ったため。
 2. 国内のキリシタン大名たちが団結し、明（当時の中国）の皇帝と結んで秀吉を打倒しようとする密約が発覚したため。
 3. キリスト教の教えが神の前での平等を説くものであり、秀吉が築こうとした身分秩序や支配体制を脅かす恐れがあったため。
 4. キリスト教が仏教の一派と結びつき、比叡山延暦寺などの寺社勢力を背景に秀吉の政治に武力で干渉し始めたため。
- 問6 16世紀後半における、日本とポルトガルを中心とした「南蛮貿易」の特徴を説明した文として、最も適切なものはどれかを選びなさい。（2025年 島根県公立入試 類似）
1. 産業革命を経たイギリスから、機械製品や綿布が日本へ大量に輸出された。
 2. キリスト教の布教を伴い、日本からは銀が、ヨーロッパ側からは鉄砲や硝石などがもたらされた。
 3. 江戸幕府の鎖国政策により、長崎の出島においてオランダとの間でのみ行われた。
 4. 仏教を広めることを目的とした宣教師たちが、日本から茶や陶磁器を大量に買い付けた。
- 問7 16世紀初頭のドイツにおいて、修道士マルティン・ルターはローマ教皇が資金集めのために免罪符（贖有状）を販売している現状を批判し、信仰のよりどころは教会ではなく聖書にあると主張しました。この一連の動きを何と呼びますか。（2024年 秋田県公立入試 類似）
1. 十字軍
 2. ルネサンス
 3. 宗教改革
 4. 産業革命
- 問8 豊臣秀吉が国内を統一した後、明の征服を目指して朝鮮へ大軍を送った二度の出兵に関する歴史的経緯について述べたものとして、正しいものはどれですか。（2017年 高知県公立入試 類似）
1. 大陸での勢力拡大を恐れたモンゴル帝国が仲裁に入り、明との間で平和条約が締結されたため、平和的な撤退が行われた。
 2. 明の皇帝から日本国王の称号を授かることで東アジアの秩序に組み込まれ、正式な国交を樹立して全軍が帰国した。
 3. 朝鮮半島南部の拠点を恒久的に領土とすることに成功し、大陸との貿易を独占することで江戸幕府の財政基盤を築いた。
 4. 二度にわたる出兵が行われたが、朝鮮の民衆による激しい抵抗や、秀吉が病で没したことをきっかけに、日本軍は撤退した。
- 問9 豊臣秀吉が宣教師の国外退去を命じた際、布教活動を禁じる一方で、ポルトガル人らとの「南蛮貿易」については継続を認めました。秀吉がこのように、宗教と貿易を切り離して対応しようとした背景として、最も適切な説明はどれですか。（2026年 富山県公立入試 類似）
1. 日本国内の仏教勢力を抑えるために、キリスト教の布教は制限したが、仏教徒が利用していた貿易ルートを確認したかったから。
 2. キリスト教が広がることで日本人が団結し、一向一揆のような反乱が起きることを恐れたが、同時に西洋の優れた武器や物資を入手し続けたかったから。
 3. 宣教師が貿易の窓口となっていたため、国外追放をきっかけにオランダとの独占貿易に切り替えることを目的としたから。
 4. 幕府が定めた鎖国体制を強化するために、まずは宣教師を排除してキリスト教の影響力を弱める必要があったから。
- 問10 次の文は、豊臣秀吉が出した刀狩令の目的について述べたものです。文中の空欄に当てはまる語句として最も適切なものはどれか。「百姓が【 】ことを防ぎ、耕作に専念させるために武器の所持を禁じた。」（2017年 北海道公立入試 類似）
1. 自由に商売を行う
 2. 一揆をおこす
 3. 年貢を滞納する
 4. キリスト教を信仰する
- 問11 16世紀半ばから17世紀初めにかけての出来事を記した略年表において、織田信長や豊臣秀吉が活躍した安土桃山時代に、ポルトガル人やスペイン人の商人が来航して行われた貿易の名称を答えなさい。（2022年 静岡県公立入試 類似）
1. 勘合貿易
 2. 日朝貿易
 3. 日宋貿易
 4. 南蛮貿易
- 問12 日本の戦国時代から安土桃山時代にあたる16世紀のヨーロッパにおいて、当時のキリスト教のあり方を根本から変え、後の社会に大きな影響を与えた出来事はどれか。（2015年 佐賀県公立入試 類似）
1. 宗教改革
 2. 十字軍の遠征
 3. 世界恐慌
 4. フランス革命
- 問13 太閤検地において、土地の生産力を表すために導入された「石高（こくだか）」の仕組みと影響について述べた文として正しいものはどれですか。（2014年 和歌山県公立入試 類似）
1. 土地の所有権をあいまいにすることで、複数の貴族や武士が同じ土地から利益を得る荘園制を維持した。
 2. 土地の面積に等級（生産性の違い）を掛け合わせて算出され、一人の耕作者が一つの土地を登録する原則が確立した。
 3. 実際に収穫された米の重さを毎年計測し、その年の天候に応じて徴収する年貢の割合を変動させた。
 4. 武士が戦場に連れて行く馬の数や武器の量を基準にして、それぞれの領地の価値を定めた。

答え合わせ・解説

問1	答え 1 大名や豪商の富を背景に、豪華な城郭が築かれる一方で、質素な「わび茶」の精神を反映した茶室もつくられた。	桃山文化は、権力を象徴する豪華な城郭建築（姫路城や大阪城など）と、内面的な精神性を重んじる「わび茶」という、対照的な二つの面を併せ持っているのが大きな特徴です。千利休が設計した「待庵」はわずかに二畳の広さしかなく、余計な装飾を削ぎ落とした極めて簡素な空間となっており、当時の武士たちの精神的な支えとなりました。
問2	答え 4 全国でバラバラだった升の大きさを統一し、一つの土地につき一人の耕作者を検地帳に登録して、年貢の負担責任を明確にした。	太閤検地では、全国で統一された「京升」を用いて土地の面積や収穫量（石高）を測り直しました。また「一地一作人の原則」により、土地の所有者（耕作者）を一人に特定して検地帳に登録したため、中間搾取を排除して着実に年貢を徴収する体制が整いました。これにより、荘園制が完全に崩壊しました。
問3	答え 3 戦国大名の威風を反映した、豪華で壮大な文化	この時代は、天下統一を目指す戦国大名の強大な権力や富を背景に、力強く華やかな文化が形成された。姫路城などの壮大な城郭建築や、金箔を多用した障壁画はその象徴である。公家と武家の文化が混じり合ったのは室町文化、上方の町人が担い手となったのは元禄文化、唐の影響が強いのは飛鳥・奈良時代の文化であるため、混同しないよう注意が必要である。
問4	答え 1 将軍の足利義昭を京都から追放し、室町幕府を滅亡させた。	室町幕府の滅亡は1573年の出来事であり、桶狭間の戦い（1560年）と楽市令（1577年）の間に位置します。長篠の戦いは1575年、本能寺の変は1582年の出来事です。信長の勢力拡大の過程において、将軍の追放は旧来の権威を否定し、天下統一を推し進める大きな転換点となりました。
問5	答え 1 長崎がイェズ会に寄進されるなど、日本の領土の一部が実質的に外国勢力の支配下に入ることに對して強い危機感を持ったため。	秀吉は九州平定の際、大村純忠が長崎をイエズス会に寄進していたことや、日本人が奴隷として海外に売られている事実を知り、キリスト教の布教が単なる宗教活動にとどまらず、外国勢力による植民地化や領土侵略につながる危険性を察知しました。これが、それまでの融和的な態度を一変させ、宣教師の追放を命じる大きな動機となりました。選択肢にある「平等の教え」への警戒も広義の理由に含まれますが、追放令を出す直接の契機となったのは領土や主権に関わるこうした安全保障上の問題でした。
問6	答え 2 キリスト教の布教を伴い、日本からは銀が、ヨーロッパ側からは鉄砲や硝石などがもたらされた。	ポルトガルやスペインとの貿易は、カトリックの布教活動と密接に結びついていました。南蛮貿易と呼ばれます。当時、石見銀山などで産出量が増大していた銀が日本の主要な輸出資源となり、軍事技術としての鉄砲や、その運用に必要な硝石が輸入されました。オランダとの出島貿易は17世紀以降の出来事です。
問7	答え 3 宗教改革	カトリック教会の腐敗を批判したルターの行動は、印刷術の普及も手伝ってヨーロッパ全土に大きな影響を与えました。この運動により、キリスト教は伝統的なカトリックと、聖書を重視する新しい勢力に分裂することとなりました。
問8	答え 4 二度にわたる出兵が行われたが、朝鮮の民衆による激しい抵抗や、秀吉が病で没したことをきっかけに、日本軍は撤退した。	全国を統一した豊臣秀吉は、明の征服を目的として1592年（文禄の役）と1597年（慶長の役）の二度にわたり朝鮮へ出兵しました。しかし、朝鮮の李舜臣率いる水軍や、各地で立ち上がった民衆（義勇軍）の激しい抵抗に遭い、戦況は膠着しました。1598年に秀吉が病死すると、全軍が日本へ撤退することとなりました。この出兵は、朝鮮の人々に甚大な被害を与えただけでなく、戦費の負担により豊臣政権が弱体化する一因ともなりました。
問9	答え 2 キリスト教が広まることで日本人が団結し、一向一揆のような反乱が起きることを恐れたが、同時に西洋の優れた武器や物資を入手し続けたかったから。	秀吉は、キリスト教徒が強固に団結することが天下統一後の支配の脅威になると考え、宣教師の国外追放を断行しました。しかし、当時は火縄銃の原料となる硝石や、中国産の生糸といった戦略的に重要な物資を南蛮貿易に頼っていたため、貿易の利益を失うことを避けるために宗教活動のみを制限しようと試みました。江戸時代の「鎖国」へと繋がる、キリスト教政策の初期段階の対応です。
問10	答え 2 一揆をおこす	刀狩の最大の目的は、百姓が武器を持って集団で抵抗する「一揆」を防ぐことにありました。武器を没収することで反乱のリスクを減らし、百姓を農業に専念させて年貢を確実に確保しようとしたのです。
問11	答え 4 南蛮貿易	16世紀半ばにポルトガル人が種子島へ来航し鉄砲が伝来したことや、スペイン人のフランシスコ・ザビエルによってキリスト教が伝えられたことをきっかけに始まった貿易です。当時、ポルトガルやスペインの人々は「南蛮人」と呼ばれていたため、この名称がつきました。室町時代に明（中国）との間で行われた勘合貿易や、平安時代の日宋貿易とは時期や相手国が明確に異なります。
問12	答え 1 宗教改革	16世紀は日本では織田信長や豊臣秀吉が活躍していた時代です。この時期のヨーロッパでは、ルターやカルバンらがカトリック教会の改革を求めた宗教改革が起こっていました。十字軍は11世紀から13世紀、フランス革命は18世紀末、世界恐慌は20世紀の出来事であるため、時期が異なります。
問13	答え 2 土地の面積に等級（生産性の違い）を掛け合わせて算出され、一人の耕作者が一つの土地を登録する原則が確立した。	太閤検地では、測量した面積に土地の良し悪しに応じた「等級」を掛け合わせ、予想される米の収穫量を「石高」として定めました。また、検地帳には実際に耕作している農民の名前が一人だけ登録される「一地一作人の原則」がとられました。これにより、複雑だった荘園制の権利関係が整理され、農民が年貢を納める責任者であることが明確になりました。

- 問1 豊臣秀吉が実施した刀狩において、農民から武器を没収する際に名目として掲げられた内容はどれですか。 (2017年 山口県公立入試 類似)
1. 没収した武器をすべて朝廷に献上し、天皇を中心とした国家の武威を示すことで、諸外国からの侵略を抑止する。
 2. 没収した武器を溶かして新しい貨幣を铸造し、全国で統一した通貨として流通させることで経済を活性化させる。
 3. 没収した武器を鉄材として再利用し、京都に建立する大仏の釘やかすがいなどの資材に充てることで、来世の安泰を祈願する。
 4. 没収した武器を海外との貿易の輸出品として活用し、得られた利益を凶作に備えた備蓄米の購入資金に充てる。
- 問2 平安時代末期から鎌倉時代にかけて、日本国内では自ら貨幣を铸造する代わりに、中国から「宋銭」を大量に輸入して流通させていました。このように輸入銭が広く使われるようになった背景として、最も適切な説明を選びなさい。 (2022年 島根県公立入試 類似)
1. 幕府が国内産の貨幣の使用を禁止、外国の貨幣を使うよう法律で強制したため。
 2. 日宋貿易の拡大に伴い、国内の商業活動が盛んになって貨幣の需要が高まったため。
 3. 日本国内での銅の産出が完全に止まり、貨幣の原料が一切不足したため。
 4. 朝廷が律令制度を強化し、国家の権威を示すためにあえて外貨を採用したため。
- 問3 豊臣秀吉が農民から刀、脇差、弓、槍、鉄砲などの武器を没収した政策の目的と、その結果として進められた社会的な区分について述べたものとして、最も適切なものはどれですか。 (2015年 千葉県公立入試 類似)
1. 検地帳に農民の名前を登録することで、土地の所有権と耕作の権利を保障し、税率を一定にした。
 2. 鉄砲の製造を特定の職人に制限し、幕府が軍事力を独占することで、戦国時代の終焉を宣言した。
 3. 自給自足の生活を推奨し、農村に商人が入り込むのを制限することで、幕藩体制の基礎を築いた。
 4. 農民による一揆を防止して耕作に専念させ、武士と農民の身分を区別する兵農分離を進めた。
- 問4 織田信長が築いた安土城が、その後の日本の城郭建築や政治に与えた影響について説明した文として、最も適切なものはどれですか。 (2023年 徳島県公立入試 類似)
1. 山城から平山城への転換点となり、豪華な天守を設けることで領主の圧倒的な権威を民衆や諸大名に誇示する役割を果たした。
 2. 豊臣秀吉が全国統一を成し遂げた後の政治的拠点として、瀬戸内海の海上交通を完全に支配するために築かれた。
 3. 鎌倉時代から続く伝統的な防衛拠点の形式を継承し、敵の侵入を防ぐことのみを目的とした簡素な造りで設計された。
 4. 徳川家康が江戸幕府を開いた際、関東地方の守りを固めるために、防衛機能を最優先した質実剛健な様式で築かれた。
- 問5 14世紀から16世紀のヨーロッパを分析した資料において、イスラム文化や古典古代の文化への関心が高まった背景にある歴史的な出来事と、その後の変化について述べた記述として正しいものを選んでください。 (2024年 三重県公立入試 類似)
1. 宗教改革の影響でカトリック教会の権威が失墜したことにより、ヨーロッパの知識人がイスラム圏へ移住した。
 2. 十字軍の遠征などを通じて高度なイスラム文化や古典古代の知識が流入し、人間中心の新しい文化が生まれた。
 3. モンゴル帝国の拡大によって東方の火薬や羅針盤が伝わり、騎士階級が没落して教会が文化を独占した。
 4. ベストの流行によって人口が減少したため、キリスト教の信仰が強まり、古代ギリシャの科学は否定された。
- 問6 16世紀の世界において、スペインが支配した領域の特徴を説明した文として、最も適切なものはどれですか。当時の世界情勢や他国との関係を考慮して答えなさい。 (2026年 三重県公立入試 類似)
1. アフリカ南端のケープタウンを中継地とし、インド洋から東南アジアに至る海上の交易ルートを独占した。
 2. 南北アメリカ大陸のうちポルトガル領となったブラジルを除く地域と、アジアのフィリピンを支配した。
 3. キリスト教の布教を一切行わず、もっぱら南アメリカ大陸でのサトウキビ栽培を目的として領土を拡大した。
 4. 北アメリカ大陸の東海岸を拠点として、イギリスやフランスの勢力と争いながら広大な植民地を維持した。
- 問7 フランシスコ・ザビエルが鹿児島に来航したことをきっかけに、キリスト教の布教とともに活発化した南蛮貿易について、当時の大名たちがこの貿易を積極的に推進した理由として最も適切なものはどれですか。 (2016年 香川県公立入試 類似)
1. キリスト教を国教として定め、仏教勢力の不満を抑えるため。
 2. 勘合(符)を用いて倭寇と区別し、明との公的な貿易を独占するため。
 3. 鉄砲や火薬といった強力な武器を手して、軍事的な優位を築くため。
 4. 平清盛が整備した大輪泊泊を利用して、中国の宋との交流を深めるため。
- 問8 戦国時代から安土桃山時代にかけて、織田信長や豊臣秀吉といった有力な武将たちが、千利休の提唱した「わび茶」を政治の場に取り入れた背景として、最も適切な説明はどれですか。 (2024年 岐阜県公立入試 類似)
1. わび茶が公家の独占的な教養であったため、公家社会とのパイプを築く唯一の手段だったから。
 2. 静寂な茶室という空間が、武将同士の密接な交渉や家臣との信頼関係を築く重要な場となったから。
 3. 質素な茶室を奨励することで、戦費を調達するために領民へ倅約を促すモデルケースとしたから。
 4. 茶道を通じた精神修行を義務付けることで、武士が戦場へ出ることを拒まないように教育したから。
- 問9 織田信長が自らの城下町である安土などで実施した政策で、同業者の組合である「座」の特権を廃止し、市場での税を免除して自由な商売を認めたものを何といいますか。 (2016年 岩手県公立入試 類似)
1. 楽市・楽座
 2. 株仲間
 3. 刀狩
 4. 太閤検地
- 問10 織田信長が安土城の城下町などを発展させるために実施した、経済政策について述べた次の文の空欄にあてはまる語句を選びなさい。「信長は、商工業をより活発にするため、中世以来の独占的な営業権を持っていた商工業者の団体である『座』を廃止し、市場での税を免除した。この一連の政策を()という。」 (2019年 静岡県公立入試 類似)
1. 刀狩
 2. 太閤検地
 3. 公事方御定書
 4. 楽市・楽座
- 問11 豊臣秀吉が全国規模で実施した「太閤検地」の内容について、それまでの土地制度と比較した説明として最も適切なものはどれですか。 (2023年 香川県公立入試 類似)
1. 土地を新しく開墾した者に対して、その土地を永久に私有することを認めることで、農業の振興を図った。
 2. 全国の土地の所有権を一度天皇に返上させ、改めて大名にその土地の管理を任せる仕組みを整えた。
 3. 実際に田畑を耕作している農民を検地帳に登録して土地の所有権を認め、同時に年貢を納める義務を負わせた。
 4. 土地の面積ではなく、その土地で働く人の数に応じて税を課すことで、労働力を確保しようとした。

答え合わせ・解説

問1	答え 3 没収した武器を鉄材として再利用し、京都に建立する大仏の釘やかすがいなどの資材に充てることで、来世の安泰を祈願する。	秀吉は刀狩令の中で、没収した武器は京都の方広寺に建立する大仏の材料にすると説明しました。これは、農民の反発を和らげると同時に、武器を差し出すことが功德（良い行い）になり、来世で救われるといった宗教的な理由付けを行うことで、円滑に政策を進める狙いがありました。実際には、農民の武装を解除し、一揆の基盤を奪うことが最大の目的でした。
問2	答え 2 日宋貿易の拡大に伴い、国内の商業活動が盛んになって貨幣の需要が高まったため。	平安時代中期以降、日本では貨幣を鋳造する技術や制度が衰退していましたが、平氏による日宋貿易の推進などにより、経済活動が活発化しました。急増する貨幣需要に対し、日本側は金や木材などを輸出し、代わりに信頼性の高い宋銭を大量に輸入することで、年貢の銭納化などが進むきっかけとなりました。
問3	答え 4 農民による一揆を防止して耕作に専念させ、武士と農民の身分を区別する兵農分離を進めた。	豊臣秀吉は、農民から武器を取り上げる「刀狩」を行うことで、武力による抵抗（一揆）を物理的に不可能にしました。これにより農民を農業生産に集中させ、年貢を確実に徴収する体制を整えました。同時に、帯刀が許される武士と、耕作を担う農民という身分の違いが明確になり、後世に続く「兵農分離」の基盤が作られました。
問4	答え 1 山城から平山城への転換点となり、豪華な天守を設けることで領主の圧倒的な権威を民衆や諸大名に誇示する役割を果たした。	安土城は、それまでの防御に特化した中世の山城とは異なり、高い石垣と壮麗な天守を持つ「見せるための城」としての性格を強く持っていました。これは、信長が自身の強大な権力を誇示し、天下に新しい秩序が到来したことを視覚的に知らしめる目的がありました。この様式は、その後の豊臣秀吉や徳川家康らによって築かれる近世城郭のモデルとなりました。
問5	答え 2 十字軍の遠征などを通じて高度なイスラム文化や古典古代の知識が流入し、人間中心の新しい文化が生まれた。	十字軍の遠征や東方貿易の活発化により、ビザンツ帝国やイスラム世界に保存されていた古代ギリシャ・ローマの文献や科学知識がヨーロッパへ逆輸入されました。これが刺激となり、神の教えに従うことを最優先した中世の価値観から脱却するルネサンスの動きが加速しました。
問6	答え 2 南北アメリカ大陸のうちポルトガル領となったブラジルを除く地域と、アジアのフィリピンを支配した。	スペインは、コロンブスが到達したカリブ海を足がかりに、北アメリカ南部から南アメリカ大陸の大部分を支配下におきました。ただし、南アメリカ大陸の東部であるブラジルはポルトガルの領土であったため、スペインの支配には含まれません。また、東南アジアではフィリピンを拠点としており、これらは当時のスペインが「太陽の沈まぬ国」と呼ばれるほどの繁栄を築く基盤となりました。
問7	答え 3 鉄砲や火薬といった強力な武器を入手して、軍事的な優位を築くため。	当時の九州をはじめとする戦国大名たちは、領国を強化するために最新の技術や兵器を求めていました。ポルトガル人などの南蛮商人と取引を行うためには、宣教師によるキリスト教の布教を許可することが条件となる場合が多く、大名たちは軍事的な利益（鉄砲や火薬の入手）を目的に貿易を奨励しました。中には自らキリスト教徒になるキリシタン大名も現れました。なお、勘合貿易は室町時代の、大輪田泊の整備は平安時代末期のできごとです。
問8	答え 2 静寂な茶室という空間が、武将同士の密接な交渉や家臣との信頼関係を築く重要な場となったから。	当時の有力な武将たちは、茶の湯を単なる趣味ではなく「御茶湯御政（おちゃのゆござい）」として政治に利用しました。狭く密閉された茶室は機密保持に適しており、そこで行われる茶会は、恩賞として名品を授けたり、重要な政治的決断を下したりする、武家社会の秩序維持のための特別な儀礼として機能しました。
問9	答え 1 楽市・楽座	織田信長は、商工業を盛んにして自らの経済力を強めるため、古い特権を持つ「座」の支配を打破しました。この政策により、新しく参入する商人にも自由な営業を認め、城下町に多くの人や物資が集まる仕組みを整えました。
問10	答え 4 楽市・楽座	織田信長は、領地の経済力を高め、軍事資金や物資を安定的に確保するために商工業の振興を図りました。それまで特定の商人にのみ独占的な営業を認めていた「座」の特権を廃止することで、新しくやってきた商人でも自由に商売ができる環境を整え、城下町に人や物を集めようとした。
問11	答え 3 実際に田畑を耕作している農民を検地帳に登録して土地の所有権を認め、同時に年貢を納める義務を負わせた。	豊臣秀吉は全国の田畑の面積や質を調査する検地を行い、それまで複雑に入り組んでいた土地の権利関係を整理しました。これにより、実際に耕作を行っている農民の名前を検地帳に登録し、その土地の所有権を認める代わりに、収穫量に応じた年貢の納入をその農民に義務付けました。これは「一地一作人の原則」と呼ばれ、兵農分離を進める基盤となりました。

- 問1 豊臣秀吉が全国を統一した時期に、戦国大名の権力や豪商の富を背景として栄えた、豪華で壮大な特徴を持つ文化を何といいますか。その名称と、代表的な絵師の組み合わせとして正しいものを選びなさい。 (2022年 愛媛県公立入試 類似)
1. 元禄文化 — 菱川師宣 2. 桃山文化 — 狩野永徳 3. 東山文化 — 雪舟 4. 天平文化 — 鑑真
- 問2 16世紀に日本の銀の産出量が飛躍的に増加し、世界有数の産出国となった背景に関連して、島根県の石見銀山で導入された技術やその影響について述べた文として正しいものはどれですか。 (2019年 三重県公立入試 類似)
1. 灰吹法と呼ばれる精錬技術が導入されたことで、銀の生産効率が大幅に向上した。 2. 江戸時代の鎖国によって海外への輸出が禁じられ、すべて国内の通貨として利用された。 3. 田中正造が公害問題の解決を訴えたことにより、日本初の環境対策が実施された。 4. 明治時代の産業革命期に、最新の蒸気機関による採掘を開始し世界一の産出量となった。
- 問3 日本で江戸幕府が続いていた期間（1603年～1867年）に世界で起こった出来事として当てはまらないものは、次のうちどれか。 (2024年 青森県公立入試 類似)
1. ドイツでルターが宗教改革を始めた 2. アメリカで南北戦争が始まった 3. フランスで人権宣言が出された 4. イギリスで名誉革命が起こった
- 問4 16世紀後半、室町幕府の最後の将軍を追放して幕府を事実上滅ぼし、安土桃山時代へとつながる天下統一の基礎を築いた人物は誰か。 (2018年 京都府公立入試 類似)
1. 足利義昭 2. 織田信長 3. 豊臣秀吉 4. 足利義満
- 問5 九州地方を舞台とした歴史上の出来事について、時代順に正しく並んでいるものはどれですか。なお、九州地方が大陸や半島に近いという地理的条件を背景に発生した事象に着目して判断してください。 (2016年 神奈川県公立入試 類似)
1. フランシスコ・ザビエルの来航 → 元（モンゴル帝国）の襲来 → 白村江の戦い後の防人配置 → 豊臣秀吉による朝鮮出兵 2. 白村江の戦い後の防人配置 → フランシスコ・ザビエルの来航 → 豊臣秀吉による朝鮮出兵 → 島原・天草一揆の発生 3. 遣隋使の派遣 → 白村江の戦い後の防人配置 → 豊臣秀吉による朝鮮出兵 → 元（モンゴル帝国）の襲来 4. 白村江の戦い後の防人配置 → 元（モンゴル帝国）の襲来 → フランシスコ・ザビエルの来航 → 豊臣秀吉による朝鮮出兵
- 問6 豊臣秀吉が農民から刀、脇差、弓、槍、鉄砲などの武器を没収した政策の目的と、その結果として進められた社会的な区分について述べたものとして、最も適切なものはどれですか。 (2015年 千葉県公立入試 類似)
1. 農民による一揆を防止して耕作に専念させ、武士と農民の身分を区別する兵農分離を進めた。 2. 鉄砲の製造を特定の職人に制限し、幕府が軍事力を独占することで、戦国時代の終焉を宣言した。 3. 自給自足の生活を推奨し、農村に商人が入り込むのを制限することで、幕藩体制の基礎を築いた。 4. 検地帳に農民の名前を登録することで、土地の所有権と耕作の権利を保障し、税率を一定にした。
- 問7 戦国時代において、関所の廃止や楽市・楽座などの政策を推し進めた織田信長は、自身の印章に、武力によって天下を統一し統治するという強い意志を示す言葉を刻みました。この印章に刻まれた言葉として適切なものはどれですか。 (2017年 鹿児島県公立入試 類似)
1. 生類憐みの令 2. 太閤検地 3. 公事方御定書 4. 天下布武
- 問8 1588年に豊臣秀吉が発令した「刀狩令」の主な目的と、それによってもたらされた社会的な変化として最も適切な説明はどれですか。 (2017年 山口県公立入試 類似)
1. 農民から武器を没収して一揆を防ぐとともに、農民を耕作に専念させ、武士と農民の身分を明確に区分する兵農分離を推し進めた。 2. 武士が勝手に大名の間で争うことを禁じることで、戦国時代のような混乱を終わらせ、天皇の権威を利用して全国の支配を確立した。 3. 全国の土地の広さと質を調査して収穫量を石高で表すことで、農民から徴収する年貢を安定させ、武士が農村に住む仕組みを作った。 4. 武士や僧侶、農民などの身分を厳格に固定する法令を出し、居住地を制限することで、江戸幕府による中央集権的な支配の基礎を築いた
- 問9 15世紀後半から16世紀にかけて、ポルトガルなどのヨーロッパ諸国が航海技術を発展させて海外へ進出した「大航海時代」の影響について述べた文として、正しいものはどれか。 (2023年 神奈川県公立入試 類似)
1. スペインがブラジルを植民地としたため、周辺の国々とは異なりブラジルではスペイン語が公用語となっている。 2. ポルトガルの植民地となった影響で、南アメリカ大陸のブラジルでは現在もポルトガル語が公用語となっている。 3. 産業革命による工業製品の輸出を目的として、ポルトガルが南アメリカ大陸の全域を支配下に置いた。 4. 第二次世界大戦後の独立運動により、南アメリカの国々ではヨーロッパ由来の言語が公用語として使用されなくなった。
- 問10 南アメリカ大陸の統計資料において、周辺の国々がスペイン語を公用語としている中で、広大な面積を持つブラジルのみがポルトガル語を公用語としている理由として、最も適切なものはどれか。 (2023年 神奈川県公立入試 類似)
1. 18世紀にイギリスで起こった産業革命の影響で、ポルトガル語が共通語として普及したから。 2. 古代から南アメリカ大陸全域において、ポルトガル語が原住民の共通言語であったから。 3. 大航海時代に、ポルトガルがこの地域を植民地として支配したから。 4. 第二次世界大戦後に、ブラジルがポルトガルの経済支援を受けて独立を果たしたから。
- 問11 豊臣秀吉が実施した刀狩において、農民から武器を没収する際に名目として掲げられた内容はどれですか。 (2017年 山口県公立入試 類似)
1. 没収した武器を海外との貿易の輸出品として活用し、得られた利益を凶作に備えた備蓄米の購入資金に充てる。 2. 没収した武器を鉄材として再利用し、京都に建立する大仏の釘やかすがいなどの資材に充てることで、来世の安泰を祈願する。 3. 没収した武器を溶かして新しい貨幣を铸造し、全国で統一した通貨として流通させることで経済を活性化させる。 4. 没収した武器をすべて朝廷に献上し、天皇を中心とした国家の武威を示すことで、諸外国からの侵略を抑止する。
- 問12 14世紀から16世紀にかけて、イタリアの都市から始まった文化運動について述べた文として、最も適切なものはどれですか。この運動は、中世の神を中心とする考え方に対し、古代ギリシャやローマの文化を復興させることで、人間性や個性を尊重しようとしたものです。 (2025年 茨城県公立入試 類似)
1. 科学的な思考を重んじ、理性の力によって社会の仕組みや不合理を改革しようとした。 2. 免罪符（贖罪状）の販売を批判したことをきっかけに、キリスト教の信仰のあり方を問い直した。 3. 「文芸復興」とも呼ばれ、ボッティチエリなどの芸術家が人間中心主義に基づいた作品を残した。 4. 絶対王政の時期に、王の権威を象徴するために豪華で装飾的な芸術様式が確立された。

答え合わせ・解説

問1	答え 2 桃山文化 — 狩野永徳	織田信長や豊臣秀吉の時代（安土桃山時代）に栄えた文化は、天下統一を進める武士の力強さや、経済力をつけた豪商の気風を反映して、非常に華やかで力強いものとなりました。狩野永徳は、城の内部を飾る金地の屏風絵などを描き、この文化を象徴する絵師です。雪舟は室町時代の水墨画、菱川師宣は江戸時代の浮世絵の代表者であるため、この時期の文化とは異なりません。
問2	答え 1 灰吹法と呼ばれる精錬技術が導入されたことで、銀の生産効率が大幅に向上した。	石見銀山では、16世紀に博多の商人らによって朝鮮半島から「灰吹法」という高度な精錬技術が伝えられました。これにより高品質な銀の大量生産が可能になり、日本の銀は東アジアやヨーロッパとの交易において極めて重要な役割を担うようになりました。田中正造が訴えたのは栃木県の足尾銅山での鉱毒事件についてです。
問3	答え 1 ドイツでルターが宗教改革を始めた	ルターによる宗教改革の始まりは1517年であり、これは16世紀初頭の出来事です。日本では戦国時代から安土桃山時代にあたる時期であり、1603年の江戸幕府成立よりも前に起こりました。一方、イギリスの名誉革命（1688年）、フランス革命による人権宣言（1789年）、アメリカの南北戦争（1861年）は、いずれも江戸時代に含まれる期間に発生しています。
問4	答え 2 織田信長	室町幕府の第15代将軍であった足利義昭を京都から追放したことで、長らく続いた室町時代の政治体制を終わらせました。その後、安土城を拠点に天下統一を推し進め、中世から近世へと日本の歴史を大きく転換させる役割を果たしました。
問5	答え 4 白村江の戦い後の防人配置 → 元（モンゴル帝国）の襲来 → フランシスコ・ザビエルの来航 → 豊臣秀吉による朝鮮出兵	九州の対外関係史は、まず古代（7世紀）に白村江の戦いとそれに続く防人の配置が行われました。その後、中世（13世紀後半）にモンゴル帝国が攻めてきた「元寇」が発生しました。さらに時代が下り、1549年にフランシスコ・ザビエルが鹿児島に来航してキリスト教が伝来し、16世紀末（安土桃山時代）に豊臣秀吉が九州を拠点として朝鮮出兵（文禄・慶長の役）を行いました。島原・草子一揆は江戸時代初期の出来事であり、遣隋使の派遣は防人の配置より前の出来事です。
問6	答え 1 農民による一揆を防止して耕作に専念させ、武士と農民の身分を区別する兵農分離を進めた。	豊臣秀吉は、農民から武器を取り上げる「刀狩」を行うことで、武力による抵抗（一揆）を物理的に不可能にしました。これにより農民を農業生産に集中させ、年貢を確実に徴収する体制を整えました。同時に、帯刀が許される武士と、耕作を担う農民という身分の違いが明確になり、後世に続く「兵農分離」の基盤が作られました。
問7	答え 4 天下布武	織田信長は、古い慣習を打ち破り、経済を活性化させることで自らの軍事力と権力を強化しました。彼が用いた「天下布武」という言葉には、武家の政権を樹立し、自らの力によって社会の秩序を再編するという天下統一への決意が込められています。太閤検地は豊臣秀吉、公事方御定書は徳川吉宗、生類憐みの令は徳川綱吉によるものです。
問8	答え 1 農民から武器を没収して一揆を防ぐとともに、農民を耕作に専念させ、武士と農民の身分を明確に区分する兵農分離を推し進めた。	豊臣秀吉は、農民による一揆を防止し、平和な社会を築くために刀狩を実施しました。農民から刀、脇指、弓、槍、鉄砲などの武器を奪い、農業（耕作）に専念させることを命じました。この政策は、土地調査である太閤検地とあわせて、武士と農民の身分をはっきりと分ける「兵農分離」を完成させる重要な一歩となりました。選択肢にある土地調査は「太閤検地」、争いを禁じるのは「惣無事令」に関する説明です。
問9	答え 2 ポルトガルの植民地となった影響で、南アメリカ大陸のブラジルでは現在もポルトガル語が公用語となっている。	15世紀末からの大航海時代において、ポルトガルは南アメリカ大陸の東部に到達し、現在のブラジルにあたる地域を植民地としました。南アメリカ大陸の多くの国々がスペインの支配を受けてスペイン語を公用語としているのに対し、ブラジルはポルトガルの支配を受けた歴史的背景から、現在もポルトガル語を公用語としています。産業革命は18世紀後半以降の出来事であり、大航海時代の動機とは異なります。
問10	答え 3 大航海時代に、ポルトガルがこの地域を植民地として支配したから。	大航海時代、ヨーロッパ諸国はキリスト教の布教や香辛料の貿易ルート確保を目指して海外進出を強めました。南アメリカ大陸においては、トルデシリャス条約などの取り決めや探検の結果、大陸の東側にあるブラジルがポルトガルの領土となり、それ以外の地域の多くがスペインの領土となりました。この植民地支配の歴史が、現在の言語分布に直接的な影響を与えています。
問11	答え 2 没収した武器を鉄材として再利用し、京都に建立する大仏の釘やかすがいなどの資材に充てることで、来世の安泰を祈願する。	秀吉は刀狩令の中で、没収した武器は京都の方広寺に建立する大仏の材料にすると説明しました。これは、農民の反発を和らげると同時に、武器を差し出すことが功德（良い行い）になり、来世で救われるといった宗教的な理由付けを行うことで、円滑に政策を進める狙いがありました。実際には、農民の武装を解除し、一揆の基盤を奪うことが最大の目的でした。
問12	答え 3 「文芸復興」とも呼ばれ、ボッティチェリなどの芸術家が人間中心主義に基づいた作品を残した。	ルネサンスは、古代ギリシャ・ローマの古典文化を再生（復興）させることで、中世の教会中心の価値観から脱却し、人間のありのままの姿や個性を肯定する「人間中心主義（ヒューマニズム）」を基盤としました。ボッティチェリの『春』などは、この時代の精神を象徴する作品の一つです。

- 問1 1543年の鉄砲伝来や1549年のキリスト教伝来を契機に、日本はヨーロッパ諸国との南蛮貿易を本格化させました。この貿易に関する当時の状況を説明した文として、正しいものを選びなさい。 (2018年 沖縄県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|---|---|
| 1. 日本は独自の技術で作られた陶磁器を輸出し、その代金として大量の銀を海外から輸入した | 2. 日本は国内で増産された銀を輸出することで、軍事力を高めるための鉄砲や火薬を手に入れた | 3. 日本は東南アジア産の香辛料を仲介貿易によって輸出し、ヨーロッパから生糸を輸入した | 4. 日本はキリスト教の布教を認める条件として、ヨーロッパへ金や茶を無償で提供した |
|--|---|---|---|
- 問2 豊臣秀吉が天皇の代理人である関白の地位に就いた際、全国の大名に対して領土紛争などの「私戦（大名同士の勝手な戦い）」を禁じ、和平を命じた法令を何といいますか。 (2022年 香川県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|---------|----------|--------|
| 1. 分国法 | 2. 総無事令 | 3. 武家諸法度 | 4. 刀狩令 |
|--------|---------|----------|--------|
- 問3 安土桃山時代の文化を示す「南蛮屏風」には、巨大な外国船が港に到着し、洋服を身にまとった人々が日本の商人と交易を行う華やかな様子が描かれています。この時期に行われたポルトガルやスペインとの貿易に関する記述として、最も適切なものはどれですか。 (2026年 千葉県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|--|
| 1. 日本は国内で増産された銀を輸出し、見返りとして鉄砲や火薬、生糸などを輸入した。 | 2. 日本は生糸を主な輸出製品として、ヨーロッパの国々から金や銀などの貴金属を輸入した。 | 3. 日本は茶や陶磁器を輸出し、ヨーロッパからガラス製品やキリスト教の聖具を輸入した。 | 4. 日本は鉄砲や火薬の製造技術を海外へ輸出し、見返りとして大量の銀を輸入した。 |
|--|--|---|--|
- 問4 安土桃山時代から江戸時代初期にかけてのキリスト教の動向について、1587年のバテレン追放令発令時（信者数約20万人）と、1601年の状況（信者数約30万人）を比較した記述として正しいものはどれですか。 (2021年 島根県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|---|---|
| 1. バテレン追放令と同時に貿易も全面的に禁止されたため、キリスト教の影響力は消滅した | 2. バテレン追放令が出された後も、日本国内のキリシタンの数は継続して増加していた | 3. 豊臣秀吉による厳しい弾圧が即座に効果を発揮し、16世紀末には信者数は激減した | 4. 1601年の時点では、徳川家康による鎖国令が全国に徹底されていたため信者数は減少した |
|---|---|---|---|
- 問5 織田信長が楽市楽座を断行した背景として、最もふさわしい理由はどれですか。当時の経済状況や、信長が目指した国家運営の仕組みに触れながら考えなさい。 (2024年 静岡県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|--|
| 1. 農民を商人として活用し、農閑期に商売を行わせることで、領民全体の収入を増やして一揆を防止するため。 | 2. 商人に武器の製造を依頼し、それを独占的に買い取ることで、他の戦国大名に対して軍事的な優位性を保つため。 | 3. 仏教勢力などの宗教団体が持つ特権を保護し、宗教的な権威を利用して領国内の平穏を保とうとしたため。 | 4. 特定の商人が富を独占することを防ぎ、市場を活性化させることで、自身の軍事力や政治力の基盤となる豊かな城下町を築くため。 |
|--|--|---|--|
- 問6 15世紀末、ポルトガルの支援を受けてアフリカ大陸南端の喜望峰を回り、1498年にインド西海岸のカリカットへ到達して、東洋への海上航路を確立した人物は誰ですか。 (2026年 京都府公立入試 類似)
- | | | | |
|----------------|------------------|------------------|-------------|
| 1. アメリゴ・ヴェスプッチ | 2. クリストファー・コロンブス | 3. フェルディナンド・マゼラン | 4. バスコ・ダ・ガマ |
|----------------|------------------|------------------|-------------|
- 問7 安土桃山時代の歴史について記された年表において、織田信長が各地で行った「関所の廃止」という政策が見られます。この政策の主な目的として、当時の社会状況を踏まえた最も適切な説明を選んでください。 (2024年 広島県公立入試 類似)
- | | | | |
|-----------------------------------|---------------------------------------|-----------------------------------|------------------------------------|
| 1. キリスト教が日本国内に広がるのを防ぎ、幕府の権威を高めるため | 2. 朝鮮通信使の移動を円滑にし、外交関係を改善するための道を整備するため | 3. 商工業者の自由な経済活動を促進し、物資の流通を円滑にするため | 4. 百姓による一揆などの抵抗を防ぐために、武器の所持を制限するため |
|-----------------------------------|---------------------------------------|-----------------------------------|------------------------------------|
- 問8 安土城を拠点に天下統一を推し進めた人物は、経済を活性化させるために、商人の座による独占権を廃止し、市場での税を免除するなどの政策を行いました。この政策を何と呼びますか。 (2020年 愛媛県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|----------|---------|-------|
| 1. 公地公民 | 2. 楽市・楽座 | 3. 太閤検地 | 4. 刀狩 |
|---------|----------|---------|-------|
- 問9 16世紀後半、九州のキリシタン大名である大友宗麟、有馬晴信、大村純忠の3名が、ローマ教皇のもとへ派遣した、4人の少年を中心とする使節団の名称を何といいますか。 (2026年 岐阜県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------|-----------|----------|-----------|
| 1. 岩倉使節団 | 2. 慶長遣欧使節 | 3. 朝鮮通信使 | 4. 天正遣欧使節 |
|----------|-----------|----------|-----------|
- 問10 織田信長や豊臣秀吉が活躍した時代の文化において、城郭の内部を飾る「障壁画」が金箔を多用し、豪華で力強い表現となった背景として最も適切な説明はどれですか。 (2025年 長野県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------------------------------------|--------------------------------------|---------------------------------------|--------------------------------------|
| 1. 公家たちが政治の主導権を握り、伝統的な平安時代の様式を復興させたため | 2. 仏教の教えに基づき、死後の世界である極楽浄土を再現しようとしたため | 3. 海外との交流が制限されたことで、日本独自の質素な美しさを追求したため | 4. 大名が自らの絶大な権力や富を、訪れる者に対して誇示しようとしたため |
|---------------------------------------|--------------------------------------|---------------------------------------|--------------------------------------|
- 問11 安土桃山時代の文化において、堺の商人出身であり、織田信長や豊臣秀吉に仕えて「わび茶」の作法を完成させた人物は誰か。 (2021年 大分県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|--------|-------|-------|
| 1. 狩野永徳 | 2. 千利休 | 3. 雪舟 | 4. 阿国 |
|---------|--------|-------|-------|
- 問12 15世紀、ヨーロッパ諸国が危険を冒して海上に新たな航路を求めた背景には、従来のアジアとの交易ルートが特定の勢力によって支配されたことが深く関わっています。当時、アジアとヨーロッパを結ぶ陸上の交易ルートを支配し、ヨーロッパ諸国が新航路を開拓する直接の原因となったイスラム教国家の名称を選びなさい。 (2021年 愛知県公立入試 類似)
- | | | | |
|-----------|-----------|------------|----------|
| 1. オスマン帝国 | 2. モンゴル帝国 | 3. ティムール帝国 | 4. ムガル帝国 |
|-----------|-----------|------------|----------|
- 問13 豊臣秀吉が亡くなった後の政権争いにおいて、徳川家康を中心とする東軍と石田三成を中心とする西軍が、1600年に美濃国（現在の岐阜県）で行った戦いの名称を答えなさい。 (2019年 愛媛県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------|-----------|------------|---------|
| 1. 山城国一揆 | 2. 関ヶ原の戦い | 3. 島原・天草一揆 | 4. 保元の乱 |
|----------|-----------|------------|---------|

答え合わせ・解説

問1	答え 2 日本は国内で増産された銀を輸出することで、軍事力を高めるための鉄砲や火薬を手に入れた	戦国時代の日本では、灰吹法という精錬技術の導入により銀の生産量が飛躍的に向上しました。南蛮貿易では、この銀を主な輸出物（支払い手段）として、戦国大名たちが欲した鉄砲や火薬、さらに高級品である中国産の生糸などが輸入されました。当時、銀は日本から「流出」する側の品目であり、海外から輸入していたわけではありません。
問2	答え 2 総無事令	秀吉は、朝廷から任じられた関白という最高の地位を政治的に利用し、自分には日本全国の平和を維持する権限があることを示しました。これによって、命令に従わず戦いを続ける大名を「天皇に逆らう賊軍」として討伐する正当性を得て、天下統一を加速させました。
問3	答え 1 日本は国内で増産された銀を輸出し、見返りとして鉄砲や火薬、生糸などを輸入した。	南蛮貿易は、戦国大名が軍事力を強化するために必要な鉄砲や火薬、あるいは高級品である生糸などを手に入れる重要な手段でした。日本はこれらの輸入品に対し、世界有数の産出量を誇っていた銀で支払いました。屏風に描かれた光景は、こうした物資の往来とともに、カトリックの宣教師らによってキリスト教や西洋文化が日本に流入した背景を示しています。
問4	答え 2 パテレン追放令が出された後も、日本国内のキリシタンの数は継続して増加していた	統計資料によれば、1587年のパテレン追放令から1601年にかけて、国内のキリシタンの数は約10万人増加しています。これは、追放令が貿易利益との兼ね合いで不徹底な運用に留まったことや、九州地方などを中心に信仰が深く根付いていたことが要因です。信者の減少や組織的な潜伏が本格化するのには、江戸幕府による禁教令や鎖国体制の整備が進んでからのことです。
問5	答え 4 特定の商人が富を独占することを防ぎ、市場を活性化させることで、自身の軍事力や政治力の基盤となる豊かな城下町を築くため。	信長は、中世的な特権やしがらみ（座など）を排除し、実力のある者が自由に活動できる環境を整えることで、富を自身の城下町に集中させようとしていました。経済的な繁栄は、強力な軍隊を維持するための財政基盤となり、天下統一に向けた大きな原動力となりました。
問6	答え 4 バスコ・ダ・ガマ	1498年にポルトガルの航海者バスコ・ダ・ガマが、アフリカ大陸南端の喜望峰を経由してインドに到達しました。これにより、イスラム勢力や地中海の商人を通さず、ヨーロッパがインドと直接交易を行う道が開かれました。コロンブスはスペインの支援で西へ向かいカリブ海へ、マゼランの船団は世界周航を成し遂げたことで知られています。
問7	答え 3 商工業者の自由な経済活動を促進し、物資の流通を円滑にするため	織田信長は、それまで公家や寺社が通行料を取るために設置していた関所を廃止しました。これにより、人や物の移動が自由になり、自身の城下町を中心とした経済の活性化と、戦いに必要な物資の調達を容易にすることを目指しました。また、この政策は「楽市・楽座」などとともに、新興の商工業者を保護・統制する狙いもありました。
問8	答え 2 楽市・楽座	織田信長が行った楽市・楽座は、寺社や公家に保護されていた「座」の特権を排除し、誰もが自由に商売を行えるようにした政策です。これにより城下町に多くの商人を集め、流通を活発にすることで、自身の経済力を強化する狙いがありました。
問9	答え 4 天正遣欧使節	宣教師ヴァリニャーノの勧めにより、九州のキリシタン大名たちは伊東マンショら4人の少年をローマへ派遣しました。この使節団は、キリスト教の本山であるローマ教皇に謁見して日本の布教状況を報告するとともに、西洋の高度な文化や技術を日本に持ち帰る役割を果たしました。なお、後に伊達政宗が派遣したものは慶長遣欧使節と呼ばれます。
問10	答え 4 大名が自らの絶大な権力や富を、訪れる者に対して誇示しようとしたため	安土桃山時代の桃山文化は、天下統一を目指す武将（大名）や、経済力をつけた豪商の富を背景に発展しました。特に城郭建築においては、主君の圧倒的な威厳を示すために、広大な空間を金箔や鮮やかな色彩で彩る豪華絢爛な障壁画が求められました。これは、中世の寺院中心の文化から、現世の権力を重視する文化への転換を象徴しています。
問11	答え 2 千利休	堺の有力な商人であったこの人物は、茶の湯に精神的な深みを持たせた「わび茶」を大成させました。時の権力者である豊臣秀吉の側近としても活躍し、文化面だけでなく政治の世界でも大きな影響力を持っていたことが特徴です。
問12	答え 1 オスマン帝国	1453年にビザンツ帝国を滅ぼしたオスマン帝国が地中海東部の制海権や陸上の交易ルートを掌握したことで、ヨーロッパ諸国はアジアの香辛料などを入手する際、多額の関税や中間手数料を支払う必要が生じました。これに対抗し、オスマン帝国を介さずにアジアと直接取引を行うためのルートを求めたことが、大航海時代の幕開けにつながりました。
問13	答え 2 関ヶ原の戦い	豊臣秀吉の死後、五大老の筆頭であった徳川家康が勢力を強めたのに対し、豊臣氏の家臣である石田三成らが対抗したことで発生しました。歴史年表上では1600年の出来事として記され、この戦いに勝利した徳川家康が政治の実権を握り、のちの江戸幕府成立へとつながる決定的な転換点となりました。

- 問1 1588年に出された「諸国の百姓が刀、脇指（わきざし）、弓、やり、鉄砲、そのほかの武具を持つことをかたく禁止する」という法令に関連して、この政策の名称と実施した人物の組み合わせとして正しいものを選択してください。 （2022年 岩手県公立入試 類似）
1. 豊臣秀吉による刀狩
 2. 足利義満による検地
 3. 徳川家康による武家諸法度
 4. 織田信長による楽市・楽座
- 問2 16世紀後半に鉄砲が伝来し、合戦で組織的に使用されるようになったことによる、社会や文化への影響を説明した文として最も適切なものはどれですか。 （2019年 徳島県公立入試 類似）
1. 鉄砲の製造に大量の木材が必要となったため、森林資源を守る目的で南蛮貿易が制限され、刀や槍による戦術への回帰が起こった。
 2. 鉄砲の普及により武士一人ひとりの一騎打ちが再び重要視されるようになり、険しい山の上に築かれた山城が各地で増設された。
 3. 鉄砲の導入によって戦いが短期間で終わるようになったため、城を築く必要がなくなり、各地の武士は農村へ戻って農業に専念した。
 4. 鉄砲の強力な殺傷能力から身を守るため、城の構造が石垣を多用する堅固なものへと変化し、同時に南蛮貿易を通じた技術や物資の交流も活発化した。
- 問3 日本最大の湖である琵琶湖の東岸に位置し、現在の滋賀県にあたる地域について述べた文として正しいものはどれですか。ここは、織田信長が天下統一の拠点として巨大な城を築いた場所として知られています。 （2021年 大分県公立入試 類似）
1. 京都
 2. 安土
 3. 堺
 4. 伏見
- 問4 16世紀のヨーロッパでは、ローマ・カトリック教会の腐敗を批判し、信仰のあり方を問い直す大きな運動が起こりました。ドイツのルターが免罪符（贖宥状）の販売を批判したことから始まったこの運動の内容と影響について説明したものとして、最も適切なものはどれか。 （2015年 佐賀県公立入試 類似）
1. ルターが聖書を信仰の唯一のよりどころとするよう説き、この動きはやがてプロテスタントと呼ばれる新教の誕生につながった。
 2. カトリック教会の権威を高めるために、教皇の呼びかけで聖地エルサレムを奪還するための軍隊が派遣された。
 3. ルネサンスの精神に基づき、キリスト教の教えを一切否定して、科学と理性のみを信じる世俗的な社会が形成された。
 4. フランスにおいて、市民が絶対王政を倒して人権宣言を発表し、キリスト教を国教から除外する政治改革が行われた。
- 問5 織田信長が安土城下などで実施した「楽市・楽座」と呼ばれる政策の目的として、当時の経済状況を踏まえた説明として最も適切なものはどれですか。 （2019年 神奈川県公立入試 類似）
1. キリスト教の布教を全面的に禁止し、寺院や神社の勢力を強めることで、商人たちから効率的に税を徴収すること。
 2. 農村の余った労働力を城下町に集め、公共事業に従事させることで、戦乱によって荒廃したインフラを復旧させること。
 3. 鉄砲などの武器の製造を幕府の許可制とし、特定の武器商人にのみ特権を与えることで、兵力を安定的に確保すること。
 4. 特定の商人が結成した「座」による販売の独占を否定し、関所を廃止して自由な取引を認めることで、城下町の商業を活性化させること。
- 問6 14世紀から16世紀にかけて、イタリアなどのヨーロッパ各地で展開された「ルネサンス」と呼ばれる文化運動の特徴を説明したものとして、最も適切なものを選んでください。 （2024年 三重県公立入試 類似）
1. ローマ・カトリック教会の権威を否定し、聖書のみを信仰のよりどころとして個人の救済を強調した。
 2. 十字軍の遠征の失敗を受けて、イスラム教の教義を取り入れることでキリスト教の教えを再構成しようとした。
 3. 古代ギリシャ・ローマの文化を理想とし、キリスト教の枠にとられない自由な人間性を追求しようとした。
 4. 絶対王政のもとで、国王の権力を正当化するために、豪華で装飾的な芸術や大規模な建築を推進した。
- 問7 1582年の本能寺の変以降、豊臣秀吉が全国を統一するまでの歴史的な流れを整理した記録において、1585年以降の出来事の説明として正しいものはどれですか。 （2024年 島根県公立入試 類似）
1. 1585年に征夷大將軍に就任し、その直後に北条氏を滅ぼして関東を制圧した勢いで、1590年までに四国と九州の全域を占領した。
 2. 1582年の直後に関白となり、まず関東の諸大名を服従させてから、1585年に関西地方の平定を開始し、1590年に九州を最後に統一した。
 3. 1585年に関白に就任した後、天皇の権威を背景に四国や九州、そして関東の北条氏を平定し、1590年に奥州の大名までを従わせて統一を完成させた。
 4. 1585年に太政大臣となり、京都に聚楽第を築いて天皇を招いた後、翌年の1586年には既に東北地方の奥州までを含む全国統一を完了させていた。
- 問8 桃山文化が、それまでの時代の文化と比較して「豪華」で「壮大」な特色を持つようになった歴史的な背景として、最も適切な説明はどれか。 （2018年 熊本県公立入試 類似）
1. 天下統一を目前にした戦国大名の権威誇示や、海外貿易で富を蓄えた豪商の経済力が結びついたため。
 2. 幕府による厳しい統制下で、武士の嗜みとして儒教的な道徳観に基づいた質実剛健な様式が強制されたため。
 3. 長引く戦乱による社会不安から、人々が救いを求めて極楽浄土を夢想し、阿弥陀堂などの宗教建築に私財を投じたため。
 4. 公家が政治の実権を握り、大陸から伝来した最新の仏教美術を大規模な寺院建立に取り入れたため。
- 問9 1587年、九州平定を終えた豊臣秀吉は、キリスト教の宣教師に対して国外退去を命じる「バテレン追放令」を出しました。この政策がとられた背景と、その後の実態について述べた文として最も適切なものはどれですか。 （2026年 神奈川県公立入試 類似）
1. キリスト教の拡大が自身の支配の妨げになると判断して命じたが、南蛮貿易の利益は確保したかったため、実際の追放は不徹底に終わった。
 2. 宣教師から得られる新しい技術や文化を高く評価したため、キリスト教を保護し、南蛮貿易をよりいっそう促進する目的で出された。
 3. 農民の武装を解除する政策と同時に実施され、キリスト教徒による一揆を完全に封じ込めることで、兵農分離の体制を完成させた。
 4. オランダを除くすべての外国船の来航を禁止する厳格な体制を整え、宣教師だけでなく外国商人もすべて国外へ追放した。
- 問10 大航海時代において、ポルトガルの航海者バスコ・ダ・ガマがアフリカ大陸の南端を回ってインドへ到達した航路を示す資料があります。この航海によって、ヨーロッパがアジアから直接輸入しようとした、食肉の保存や調味料として当時非常に価値が高かった品物はどれか、次から選びなさい。 （2021年 山口県公立入試 類似）
1. キリスト教の教典
 2. 胡椒などの香辛料
 3. 中国産の絹織物
 4. 日本などで産出された銀
- 問11 16世紀にフランシスコ・ザビエルらによって創設され、宗教改革に対抗して日本や世界各地でカトリックの布教活動を積極的に行った修道会の名称として、正しいものを選択してください。 （2017年 山口県公立入試 類似）
1. プロテスタント
 2. フランシスコ会
 3. 浄土真宗
 4. イエズス会

答え合わせ・解説

問1	答え 1 豊臣秀吉による刀狩	豊臣秀吉は、全国の百姓から武器を没収する「刀狩（刀狩令）」を行いました。この法令は、百姓が武器を持って一揆を起こすことを防ぐとともに、農業に専念させることを目的としていました。これにより、武士と百姓の身分を明確に区別する「兵農分離」が進むこととなりました。
問2	答え 4 鉄砲の強力な殺傷能力から身を守るため、城の構造が石垣を多用する堅固なものへと変 化し、同時に南蛮貿易を通じた技術や物資の交 流も活発化した。	鉄砲の普及は単なる武器の変化に留まらず、防衛拠点である城の形を山城から石垣を持つ平山城や平城へと進化させました。また、鉄砲の弾丸の原料となる鉛や火薬の原料である硝石などを確保するため、南蛮貿易を通じた海外とのつながりも密接になり、当時の社会構造全体に大きな影響を与えました。
問3	答え 2 安土	琵琶湖の東岸（現在の滋賀県近江八幡市付近）には、織田信長によって安土城が築かれました。この地は北陸や東海、近畿を結ぶ交通の要衝であり、信長はここを拠点として天下統一を押し進めました。選択肢にある堺は大阪府の港町、伏見は京都市南部の城下町です。
問4	答え 1 ルターが聖書を信仰の唯一のよりどころとするよう説き、この動きはやがてプロテスタン トと呼ばれる新教の誕生につながった。	16世紀、ドイツのルターは、教会が資金集めのために販売していた「免罪符（贖宥状）」を批判し、人間が救われるのは教会の儀式ではなく聖書に記された神の言葉を信じることのみであると主張しました。これが宗教改革の始まりであり、従来の旧教（カトリック）に対して新教（プロテスタント）が成立するきっかけとなりました。
問5	答え 4 特定の商人が結成した「座」による販売の独 占を否定し、関所を廃止して自由な取引を認 めることで、城下町の商業を活性化させるこ と。	織田信長は、中世以来の特権団体であった「座」が持つ販売の独占権を否定しました。さらに、領地内の関所を廃止して物流をスムーズにすることで、誰でも自由に商売ができる環境を整えました。これにより、自分の本拠地である城下町に多くの物資や商人を集め、経済力を高めることを目指しました。
問6	答え 3 古代ギリシャ・ローマの文化を理想とし、キ リスト教の枠にとらわれない自由な人間性を 追求しようとした。	ルネサンスは「文芸復興」とも訳され、中世の神中心の考え方から、人間本来の姿を肯定しようとする「人間中心」の精神（ヒューマニズム）を特徴としています。その手本となったのが、キリスト教が普及する前の古代ギリシャやローマの文化でした。
問7	答え 3 1585年に関白に就任した後、天皇の権威を背 景に四国や九州、そして関東の北条氏を平定 し、1590年に奥州の大名までを従わせて統一 を完成させた。	秀吉は1582年の本能寺の変の後、織田家内での地位を確立し、1585年に関白に就任しました。この地位を利用して四国（長宗我部氏）や九州（島津氏）を順次平定し、1590年に関東の北条氏を小田原攻めで滅ぼし、同年に東北（奥州）の諸大名も服従させたことで、全国統一を達成しました。この過程で関白という立場が、大名たちに服従を迫るための強力な外交手段となりました。
問8	答え 1 天下統一を目前にした戦国大名の権威誇示や 、海外貿易で富を蓄えた豪商の経済力が結び ついたため。	織田信長や豊臣秀吉による天下統一の動きの中で、武士たちは自らの武力や権威を視覚的に示す必要がありました。また、堺や博多といった都市の豪商たちが政治・経済の両面で武將と深く関わり、その莫大な富が芸術活動の資金源となりました。このような政治的・経済的な上昇志向が、従来の伝統的な美意識を超えた、規模が大きく色彩豊かな文化を生む原動力となりました。
問9	答え 1 キリスト教の拡大が自身の支配の妨げにな ると判断して命じたが、南蛮貿易の利益は確保 しなかったため、実際の追放は不徹底に終わ った。	豊臣秀吉は、九州平定の際にキリシタン大名が宣教師に土地を寄進している実態などを知り、キリスト教の結束力が自身の全国統一や支配の障壁になると危惧しました。一方で、ポルトガルやスペインとの「南蛮貿易」によって得られる経済的・軍事的利益（鉄砲の原料である硝石の輸入や銀の輸出など）は継続したいという意向があったため、貿易を優先して宣教師の活動を黙認する形となり、この時点での追放令は徹底されませんでした。この「宗教への警戒」と「貿易の重視」という矛盾が、初期の外交政策の特徴です。
問10	答え 2 胡椒などの香辛料	当時のヨーロッパでは、肉食文化の中で防腐剤や調味料として欠かせない香辛料（特に胡椒）の需要が非常に高まっていました。しかし、陸路や地中海経由の貿易では価格が高騰していたため、海路で直接インドなどの産地へ向かい、安く大量に手に入れることが航海の主要な目的となっていました。絹織物や銀も重要な交易品ですが、この時期の航路開拓の最大の動機は香辛料貿易の利権獲得にありました。
問11	答え 4 イエズス会	ヨーロッパで始まった宗教改革に対し、カトリック教会が勢力を立て直そうとした「対抗宗教改革」の中で設立された組織です。軍隊のような厳格な規律を持ち、アジアや中南米など海外への布教に力を入れました。日本では1549年に鹿児島に上陸したザビエルによって、その活動が本格化しました。